

厚労科研大西班

ACT分担研究の進捗について

2025.1.20



人にやさしい がん治療の今を
もっと伝えるために

ALLIANCE FOR CANCER TREATMENT

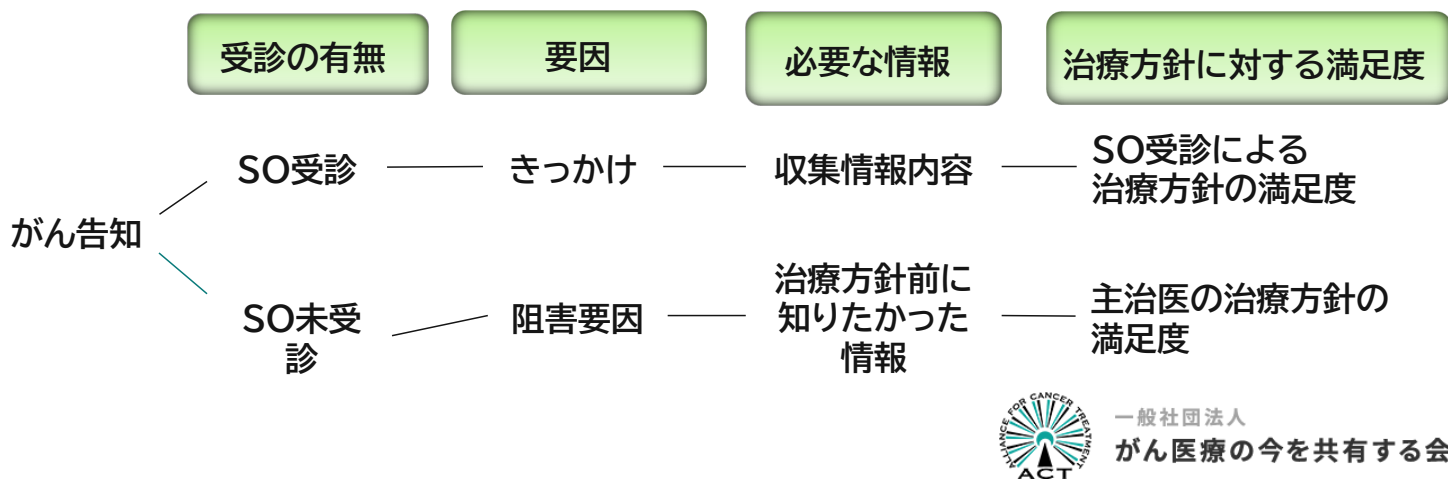
1. 前回会議までのサマリー
2. 前回以降の進捗
3. 課題、今後の予定、発表や論文化予定

■仮説:

協働意思決定の文化を根付かせるために、治療方針決定前にセカンドオピニオン(SO)受診が患者主体の医療提供体制構築のドライバーになる

■アンケートによる調査項目:

1. 要因: SO受診のきっかけはなにか, SO未受診者の阻害要因はなにか
2. 必要な情報: 治療方針決定前に知りたかった情報はなにか
3. 治療方針に対する満足度(回答者によって現状の病状は様々)



一般社団法人
がん医療の今を共有する会

1) サマリー SO現状に関するデータの整理と解析フロー

SDMを補助する為の患者向け情報提供機会創出を目指したフロー考察 調査実施方法

調査対象

前立腺癌治療でのセカンドオピニオン
実施における現状

患者団体の前立腺がんサバイバー皆さまへ
セカンドオピニオン受診経験のアンケート調査



アンケート先: 腺友倶楽部 会員の皆様
会員約800名

- ・存在を認知が出来ていたか?
- ・受けて得られた知見・満足度は?

補足説明機会の実施現状と必要性を評価し、
施策を考察する



問題点の把握

- ・パターンリズム 医師主導によるバイアス
- ・ヘルスリテラシー向上と情報周知
- ・地域格差 受診しやすさ



一般社団法人
がん医療の今を共有する会

腺友倶楽部の活動について

「たかがIMRTに辿り着くだけで、なぜこれほどの苦勞をしなければいけないのか」私自身が治療を終えて一番に思ったことです。以来、WEB上で前立腺がんの医療情報の発信を続け、2014年に前立腺がん患者・家族の会「腺友倶楽部」を立上げ、2016年の春に「NPO法人腺友倶楽部」として、新たなスタートを切りました。「腺友(せんゆう)」という言葉は腺友倶楽部の会員という意味ではなく、前立腺がんの患者仲間という意味です。(武内理事長様コメント)

- 腺友NETのガイドブックに前立腺に関する詳細な情報を提供されている
- 武内様や皆さまの情熱的な活動 会員800名の大規模運営
- 患者様向けのガイドラインにも参画されている(武内様 山口様)



一般社団法人
がん医療の今を共有する会

2) 進捗報告

	2024				2025					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
会議										
マイルストーン	アンケート内容検討および施行準備				アンケート調査	解析・レポート化				
	解析に必要な内容検討				解析データ収集	解析・レポート化				
研究班工程	研究方法の詳細検討	研究方法の詳細検討	研究方法の詳細検討	準備期間	準備期間	研究調査開始 研究調査締切	解析フェーズ	解析フェーズ	解析フェーズ	
補足		荒尾先生 草間先生 からの追加 ご依頼あり	アンケートを Formsに アサイン	腺友倶楽部様 に内容確認	腺友倶楽部様 に内容確認	アンケート 12月2日～ 12月31日 まで施行	2025年度の 結果発表を目指す			



2)アンケート結果 速報(全体回答数:120)

資料32

アンケート内容

回答サマリ

1)初診時の治療方法選択肢提示



1) 56回答(46%)は無かった
高リスク群で37/中リスク群で17

2)セカンドオピニオンの利用有無 ※複数回答



2) 54回答(45%)が有償のSO受診した
泌尿器40/放射線24

3) セカンドオピニオンによる
治療方針決定への寄与



44回答のうち最終的に選択した治療は
3) 小線源23/外照射13/粒子線6/手術2

4)セカンドオピニオンを受けた満足度



29回答(53%)が理解深まった
4) 19回答(35%)が安心に繋がった

5)セカンドオピニオンの問題点 ※複数回答



17回答(29%)が受診思いつかず
16回答(27%)が焦りにより受診出来ず
5) 12回答(20%)が言い出さず
2回答(3%)は拒否された事例
5回答(8%)は治療方針の強い推奨



がん医療の今を共有する会

2)アンケート結果 速報(全体回答数:120)

アンケート内容

回答サマリ

6)SDM定着のためセカンドオピニオンに
期待する事 ※複数回答



受診が簡単に行えるよう仕組みを改善
が83回答(69%)

主治医より受診を推奨してほしいが
66回答(55%)

6)診療報酬化が60回答(50%)

ポスター掲示等露出を増加させ一般に
浸透させてほしいが51回答(42%)

拒否した場合の公益通報制度を創設が
23回答(19%)



一般社団法人
がん医療の今を共有する会

課題

- もう少し回答N数を増やしたかったが、困難でした。

今後の予定

- 2025年1月～2月頭にかけてアンケート結果の集計を実施予定です。
- 2025年3月末までに報告書素案まで完成させる予定です。
- 前回と同様に報告書＋提言書の内容とするか検討中です。

発表や論文化予定

- 2025年度中に報告内容を基に関連学会などで発表出来れば。



一般社団法人
がん医療の今を共有する会